



| | |
|--------------|---|
| Title | 詞林 第15号 編集後記／奥付 |
| Author(s) | |
| Citation | 詞林. 1994, 15 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/67355 |
| rights | |
| Note | |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

『詞林』第十五号をお届け致します。一つの節目ということで特集号とさせていただきます。平成五年度大学院演習において『松浦宮物語』の輪読を進めていく中、さまざまな興味深い問題点が浮び上がってきたという経緯から、今回、受講者のうち本研究会会員が、論を試みることとなりました。必ずしも執筆者の専門分野というわけではありませんので、何かと見当違いや至らぬ点等もあるかと存じますが、これまでと変らぬ皆様の御批判、御叱正をお願いする次第です。

十五号を迎えることができましたのも、貴重なお時間を割いて御教授下さいました皆様のおかげでございます。十五という数にある種の感慨もわいてくるのですが、しかし、ここに至ってようやく「志学」に到達したということでもあります。これを新たな出発点とし、今後の二十号、三十号へ向けて、身を引き締め、一層の精進を続けていきたいと存じます。

なお、今号は一九九三年度懷徳堂友の会研究助成金の交付を受け、刊行致しました。

(阿部)

詞林 第十五号 定価千円(本体九七一円)

一九九四年四月十日 印刷

一九九四年四月二十日 発行

編集兼発行者

大阪大学古代中世文学研究会

〒五六〇

大阪府豊中市待兼山町一―五

大阪大学文学部国文学研究室内

代表者 伊井 春樹

電話(〇六)八四四―一一五一

振替 大阪七―三一〇三六五

印刷 昭和堂印刷所(大阪営業所)

発売 和泉書院

〒五四三

大阪市天王寺区上沙五―三―八

電話(〇六)七七―一四六七

FAX(〇六)七七―一五〇八

振替 大阪七―一五〇四三